

第16回 新型コロナウイルス感染症対策本部会議（要旨）

日時：令和2年3月24日（火）10:30～

場所：401 会議室

【協議事項】

1. イベント中止・施設閉館の今後の見通しについて

副市長：前回会議での屋外施設及び市民生活に直結する施設は開く方針に沿って、各課で精査してもらった結果、都市美化センターとわん丸エコステーションを開館することとなった。屋外の運動施設はどうしていくのか意見を。

教育部長：犬山市に隣接する可児市などで感染経路不明な感染者が出ている。しばらく開館を見送りたいと考えている。

副市長：屋外部活は4/1から実施するのではないのか。学校開放についてはどうか。

教育長：部活はあくまで学校教育の一環として実施する方針で、学校開放は現時点では行わない。

経営部長：学校を通常通り開校するのであれば、子どもも体を動かす機会があるので、担当課の意見に沿ってもいいのではないのか。

副市長：どちらの意見もあるが、結果としてどうなるかは今ここで決められない。屋外での感染経路は今まで報告されていないので、リスクは低いかもしれない。

経営部長：再開後、感染者が出た際の対応は、決まっているのか。

副市長：前回の資料記載では、感染者及び濃厚接触者が施設利用していたことが判明した時点で、施設を一度閉館し、消毒処理した上で開館する手法で進める予定となっている。

教育部長：市民からの声はだんだん強くなってきているが、感染者が近くで出てきている。オリンピックなど延期になる中で、今、開設していく理由はないのでは。

副市長：状況も見ながらだが、利用条件をもっと厳しくして、ルールを守ってもらえないなら利用できないくらいの制限付きで開けてはどうか。

美化センターの開放については、集団を形成しないように工夫すること。

教育部長：4月から屋外施設を開放した場合、予約受付は4月中旬等の対応でもよいか。

副市長：対応は所管課で可能な範囲で臨機応変に。併せて、屋外であっても器具やドアノブなど、利用者が触れそうな場所の消毒や利用者の記名などを付した上で開設するように。明日の会議で最終判断する。決まった際に、すぐ対応できるように準備しておくこと。

都市整備部長：近隣の市町村の状況はどうか。

副市長：可児市と各務原市の確認をしておくこと。

【その他、共有事項】

1. 各部からの報告について

地域安全課：国内感染者数、県内感染者数、県内感染者分布、感染ルート

小学校、未来園、児童センター出欠状況

行催事参加者への注意喚起まとめ、行催事予定表（4月分）

教育部長：臨時休業措置、自主登校教室の終了日、入学式、始業式の規模縮小実施予定日

給食の開始日、学校行事（学校ごとに内容を精査して実施）

中学校の部活の開始時期（屋外のみ4/1より実施）

以上の内容を保護者への通知及びHPでの情報発信内容。

企画広報課：開館、閉館施設情報

可児市のスポーツクラブの感染者情報あり。

可児市が職員及び家族の施設利用状況を確認しており、当市も利用者がいる可能性があるため、精査する必要あり。

健康推進課：名古屋市、尾張、三河の感染者数集計表、県内の感染者状況の分析

感染者が出た際のフロー図は、現在保健所と検討中

副市長：可児のスポーツクラブについて、犬山市職員も可能性があるため、総務課にて全職員に照会をかけるように。3/4以降の利用者を調査すること。

安城市が市独自で初めて生活支援を実施している。他市町村が独自施策している情報は、できるだけ集めること。

犬山市で実施する際はどうか考えておくように。また、消費喚起を行うような施策について、イメージし、あらかじめ考えておくように。